

報道各位 殿

プラネットニュース NO.54

2004年10月22日

情報セキュリティマネジメントシステム（ISMS）適合性評価制度
の認証取得について

東京都港区海岸3-26-1
パーク芝浦12階
株式会社プラネット
代表取締役社長 玉生 弘昌
(JASDAQコード番号：2391)

日用品・化粧品・雑貨業界のネットワークオーガナイザー株式会社プラネット（東京都港区海岸3-26-1、玉生弘昌代表取締役社長、資本金3.9億円）は、2004年9月30日付けで株式会社KPMG審査登録機構より、当社の全ての業務・従業員を適用範囲とする「情報セキュリティマネジメントシステム（ISMS）適合性評価制度」の認証を取得いたしました。

当社では、本年8月より第20期に入り、参加メーカー295社、参加卸店452社、資材サプライヤー242社、合計989社となり業界インフラとして定着を果しつつあります。従来より、ユーザー企業の信頼を受けてデータ交換サービスや商品データベース・取引先データベースなどを提供していますが、常に安全・中立・標準化・継続性を重視したインフラ構築を志してまいりました。更に、ジャスダック市場への株式公開（2004年2月）を機に、より一層ユーザーの信頼を強固にするため内部管理体制の整備の一環として全社的な情報セキュリティ管理体制の構築に取り組み、この度のISMS認証取得の運びとなりました。今回の認証取得によって、当社がサービスを提供するにあたり、その社内情報セキュリティ管理体制が国際的および国内的な標準規格に準拠した高いレベルにあることが証明されたこととなります。当社では今後も引き続き、より安全性、信頼性の高いサービスを提供するために努力してまいります。尚、業界VAN事業としては、初の取得となります。

[審査登録内容]

組織名：株式会社プラネット

事業所名：本社事業所

登録番号：CR-I0018

適用規格：ISMS認証基準（Ver.2.0）

審査登録範囲：流通業界を対象とした、EDI事業、データベース事業及びプラットフォーム事業に伴う総ての社内業務（適用宣言書：2004年8月26日版）

審査登録機関：株式会社KPMG審査登録機構

登録日：2004年9月30日

<情報セキュリティマネジメントシステム（ISMS）適合性評価制度について>

情報セキュリティへの意識が高まる中で、組織として情報セキュリティマネジメントを確立するためには、技術的なセキュリティ対策と組織全体のマネジメントの両面から取り組む必要があります。「ISMS適合性評価制度」は、国際的に整合性のとれた情報セキュリティマネジメントに対する第三者適合性評価制度であり、わが国の情報セキュリティ全体の向上に貢献するとともに、諸外国からも信頼を得られる情報セキュリティレベルを達成することを目的としたものです。本制度は、財団法人日本情報処理開発協会（JIPDEC）が2002年4月から本格運用を開始し、国際規格ISO/IEC17799：2000、および英国規格BS7799-2：2002をベースに制定されており、旧通商産業省の「情報処理サービス業情報システム安全対策実施事業所認定制度（安対制度）」に代わる第三者認証制度として運用されています。

財団法人日本情報処理開発協会 情報セキュリティマネジメントシステム（ISMS）適合性評価制度ホームページより抜粋。10月14日時点での取得数は527社。

お問い合わせ先

株式会社プラネット 社長室 部長 鈴木 正秀

TEL.03-5444-0811 FAX.03-5444-0831